

大河予算ようやく可決

全会一致 「市民一体で成功へ」

伊豆の国市議会6月定例会は29日、最終本会議を開き、市が追加提案したドラマ館設置を含む大河ドラマ関連事業費などを盛り込んだ本年度一般会計補正予算案について審議し、全会一致で可決した。山下正行市長は「理解してもらえほつとしていて。できるだけしつかりとした、観光客が来て良かったと思えるドラマ館にしたい」と話した。

大河ドラマの総事業費は1億9500万円（2万年計）で、今回の議員のうち5人が立

あった前市長案を取り下げ、しつかりと山下市長案が出された「山下市長の決意を信じ賛成する」「費用を市長と担当部で綿密に協議した上で最小限とした

努力がうかがえる。市議会の全会一致を持って、行政、議会、市民一体となって成功に向けて頑張っていきたい」などと意見を述べた。同事業費を巡っては、予算規模などから市の提出した原案は3月の定例会や臨時会で相次いで否決され、必要最低限の予算2100万円が可決された。市長選・市議選を経て新体制となった5月の

臨時会でも否決された。市は最終本会議の前に、24日に開かれた全員協議会で、同事業費を盛り込んだ本年度一般会計補正予算案の内容を説明。葦山時代劇場にドラマ館を含む仮称「北条パーク」を設置すると説明していた。議会ではこの他、委員が付託した本年度一般会計補正予算案を可決し、閉会した。